

平成24年11月 岡山市教育委員会定例会 会議録

1 開催日	平成24年11月27日 (火曜日)		
2 開会及び閉会	開会	13時30分	
	閉会	14時15分	
3 出席委員	委員長	渡辺勝志	
	委員	塩田澄子	
	委員	曾田佳代子	
	委員	東條光彦	
	委員(教育長)	山脇健	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	水野博宣	教育次長	橋本拓治
統括審議監	鈴木康義	審議監(学校教育担当)	福島治子
審議監(生涯学習担当)	直本正明	教育企画総務課長	長瀬尚樹
次長(人事財務課長)	佐々木辰昭	学事課長	山本孝治
就学課長	新井薫	指導課長	天野和弘
指導課教育支援担当課長	山崎克磨	保健体育課長	三宅修司
生涯学習課長	丸川康一	文化財課長	乗岡実
次長(スポーツ振興課長)	宗光英明		
事務局(教育企画総務課課長補佐)	高木宏	事務局(教育企画総務課主任)	宗田朋子
5 議題及び結果			
報告第14号	専決処理の報告(岡山市立学校条例の一部を改正する条例の制定について)		承認
報告第15号	専決処理の報告(岡山市社会体育施設条例の一部を改正する条例の制定について)		承認
報告第16号	専決処理の報告(平成24年度岡山市一般会計補正予算(第4号)案(スポーツ振興課分を除く)への同意について)		承認
報告第17号	専決処理の報告(平成24年度岡山市一般会計補正予算(第4号)案のうち、スポーツ振興課分の教育費予算案への同意について)		承認
6 教育長等の報告	[平成24年10月13日(土)～平成24年11月16日(金)]		
10/13～10/14 自然体験リーダー養成講座	生涯学習課		

10/20	オータムコンサート	文化財課
10/10	埋蔵文化財センター企画展特別講座「マキムク王権とキビ」	文化財課
10/27～10/28	自然体験リーダー養成講座	生涯学習課
10/28	歌とアンサンブル	文化財課
10/31	東日本大震災から学ぶ中学生報告会	指導課
11/4	わくわく子どもまつりin岡山ドーム	生涯学習課
11/6	いきいき学校園づくり	指導課
11/7	いきいき学校園づくり	指導課
11/8	いきいき学校園づくり	指導課
11/9	いきいき学校園づくり	指導課
11/10	第38回岡山市学童陸上運動記録会・研修会	保健体育課
11/10	埋蔵文化財発掘報告会	文化財課
11/12	いきいき学校園づくり	指導課
11/15	いきいき学校園づくり	指導課
11/16	教育相談室適応指導教室等交流会	指導課

指導課長	<p>○ 土曜授業の試行について報告する。来年度より、振替休業を設けない土曜授業を試行として実施したい。目的は、よりよい教育課程編成および開かれた学校づくりに資するためである。具体的には、平成25年度に、土曜日に授業または学校行事を年間3回、1回あたり3時間以上実施することを考えている。教員の週休日については、原則として長期休業中に振り替え、児童生徒の振替休業日は設けない。教育委員会で、色々な行事と重ならないところを検討した上で標準実施日を設定し、地域の実態に応じてその他の日に実施することも可能とする。標準実施日は、6月29日(土)、11月16日(土)、1月18日(土)の3日を示している。土曜授業の試行により期待する効果は大きく4点。まず、授業日数を3日増やすことが可能。次に、教育課程に若干ゆとりができ、教師が子どもと向き合う時間を増やす、あるいは、学力に関する課題解決の取組の解決を充実させることができれば良いと思う。また、余裕時間の増加により、全職員が参加する研修会等が従来よりは計画しやすくなると考えている。さらに、地域人材の活用や家庭・地域社会等と協働した教育活動を実施することで、家庭・地域社会等と自立する子どもの育成の方向性を共有し、地域協働学校の具体的な取組とすることもできるのではないかと考えている。3日でこのような効果がどのくらいあるのかという懸念もあるが、3日で何ができるかという観点で学校には取り組んでもらおうと思っているところだ。</p>
教育支援担当課長	
委員長	
東條委員	
指導課長	
曾田委員	
指導課	
曾田委員	
指導課長	
曾田委員	
指導課	
曾田委員	
塩田委員	
指導課長	

塩田委員	<p>いる人たちからすると、土曜授業があった頃は良かったという声はあった。小学校も大変だが、中学校では授業実数が増えていることもあって、この確保が苦しかった。そのため、中学校では、土曜授業などの取組をしないといけなのではないかという声はあがっていたようだ。</p>
指導課長	<p>○ 地域人材の活用を推奨するということがだが、実際、地域では学校を使って土曜日に催しを行ったりしていると思うが、そういったところとの住み分けはどうなっているのか。</p>
委員長	<p>○ 地域の行事等に重なって迷惑を掛けてはいけないという思いがあり、そういったことなるべくないようなどころを実施日として選んだつもりだ。逆に、地域の方に来ていただくということについては、推奨するというより、積極的にやってもらいたい。</p>
指導課長	<p>○ スポーツ大会や、秋ならば、文化行事に重なるということはないのか。</p>
委員長	<p>○ 部活などの行事を調べて隙間を埋めたり、学校に調整ができるかを尋ねたうえで、標準日を選んでいく。</p>
指導課長	<p>○ 各学期に1回という割り振りということか。子どもが疲れるということはないか。</p>
委員長	<p>○ 想定としては、各学期に1回と思っている。実際には、3学期は難しいという意見があるので、2学期に2回になる学校もあるかも知れない。子どもが疲れるかどうかは、試行してみないとわからない。今後検証していく。</p>
教育長	<p>○ 6月29日は、ゴールデンウィークも終わり、夏休みまで祝日休日もない頃。だんだん暑くなり、梅雨の時期で子どもが疲れてくる頃だ。とは言え、他の日というのも難しい。</p>
曾田委員	<p>○ 様々な団体の話を聞いて、あまり重ならない日を設定している。全て重ならないということはないだろうが、調整しながら、学校行事や部活動を含めて考えたうえで日にちを設定した。</p>
委員長	<p>○ 岡山市の平和の日はいつか。</p>
曾田委員	<p>○ 6月29日だ。</p>
教育長	<p>○ (同じ日に) そういう催しがあったらどうかと思うが。</p>
審議監(生涯学習担当)	<p>○ 平和の日には追悼式を行っている。6月29日が土曜日になると、追悼式は次の平日にするのか。どうなのか。</p>
教育長	<p>○ 休み(土曜日)でも実施する。重なる可能性がある。午前中は一般の方で、午後から研修会を行う。</p>
曾田委員	<p>○ 中学生を中心として、子どもたちも追悼式には参加している。</p>
教育長	<p>○ (追悼式に) 大挙して行けばいいのではないか。</p>
委員長	<p>○ 行けるときには学校がこの日に行けばよいのではないか。午前中で終わる。今までは、近い学校が授業を空けて行っていたが、この日を活用すれば、その授業ができるということにはなる。</p>
指導課長	<p>○ あえてこの日を充てたのか。</p>
教育長	<p>○ あえて充てたわけではないが、選んでいくとこの日しかなく、平和の日と重なることは認識していたが、平和の日も平日であることが多く、それが決定打ではなかった。</p>
委員長	<p>○ 参加しない子どもたちもこの日を意識してもらえばよい。それから、先ほど話題になった現場の声についてだが、11月半ばにPTA協議会会長・校長研修会があり、その場で土曜日授業について話をした。PTAの方からは、最初、驚きの声があったが、話をしてみたら皆さんやろう、良いことだという声が多くあった。もっとやってほしいという意見もあった。</p>
塩田委員	<p>○ 「岡山型一貫教育」を掲げているのであれば、期待する効果として、幼稚園から小・中学校まで一貫して何かの取組ができればよいと思うが、具体的には考えているか。</p>
指導課長	<p>○ そのような取組ができるのではないかと考えているが、むしろ、心配しているのは、同じ日に実施して保護者が重なって行けないこと。各中学校区で話し合いをする中で、そういうことも検討するだろうと思う。その中で、一つの行事や、小・中が一緒になって何かするのはありえる話。地域協働の中での取組の1つがそこで実現されればより良いことだと思う。ただ、学校の準備も十分ではないので、検証を進めていく中で、学校でこういうことができたということを取り組んでもらい、良い事例があれば、広めていくことも考えている。</p>
橋本次長	<p>○ 中学校区での研修会のことで言うと、例えば、中学校の教職員が小学校の研究授業を見に行き行って小学校の協議に入るということをしようとすると、問題は、行こうと思っても、授業があれば行けないこと。中学生を帰して小学校の授業に行かなければいけない。それは授業カットになる。すると、授業時間を確保するこ</p>

	とが難しくなり、教育課程全体が窮屈になる。これにより、年間3日とはいえ、授業数が増えることが、トータルで言うと、そういうことへもつながっていくことはあると思う。この日にやろうとすると、お互い子どもたちを抱えているので、自由が利かない。工夫の余地はいろいろある。
曾田委員	○ 教育課程にゆとりを持たせるための工夫だけでなく、幼小中の一貫や、個人的なアイデアとしては、食教育も絡めることができればよいのではないかと思う。保護者に協力してもらうことになると、家庭教育や、お弁当の日などは子どもたちが作るお弁当の日などが考えられる。夢がありながら、少し負荷がかかりながら、授業数を確保するだけではない広がりがあればよいのではないかと思う。
教育長	○ 時間的にはすごくわずかだけでも、教師にとっては良いことだと思う。教師は1日勤務して、午後の時間は会議に使ってもよい。そうすれば、他のところの会議が減る。そういった時間の使い方をしてほしい。
東條委員	○ 子どもたちや保護者、先生の負担の話が出たが、デメリットは想定されるか。日程調整のこと以外について、マイナスの効果は想定しているか。
指導課長	○ 例えば、重なった場合にどうするか。地域に開くといいながらも、全部に行けるわけではない。学校にはしないようお願いしているが、日曜日ならではで実施していた授業が、土曜授業になるのであれば、困ったことであると思う。デメリットは考え出すとたくさん出てくるのかも知れないし、検証していく中で出てくると思うが、そういったことは、検証する中で一つずつ潰していく。
委員長	○ 25年度から試行し、それを検証して、(実施日を)増やすかこのままでいくかなど検討していくということではどうか。
委員長	○ 事業報告について質問はないか。
塩田委員	○ 第38回岡山市学童陸上運動記録会・研修会について、何か話題があれば教えてほしい。
保健体育課長	○ 毎回開催されており、今回で38回目になる。6種目実施し、標準記録を突破した88校、786名の選手が参加。今回は新記録も出ていないので、特徴的なものはない。
教育長	○ 指導者が来てくれたのではないか。
保健体育課長	○ 毎年、昼の時間帯に有名な選手を招聘したり、講習会をしたりする。オリンピック選手に来てもらうことも予定したが、今回は、倉敷で大きな大会があり、こちらに有名選手が来なかった。陸上競技協会にお願いして、投てき、幅跳び、ハードル等の陸上協会の専門の方が来て指導はしてもらった。
東條委員	○ 教育相談室適応指導教室等交流会はどういうものか。
教育支援担当課長	○ 適応指導教室の体験活動の一つとして、岡山市に3つある適応指導教室が合同で5月・10月・11月にそれぞれ持ち回りで実施している。11月16日のラポート牧山では、グラウンドゴルフや岡山理科大学からボランティアの学生が参加し、理科の実験やもの作りの体験活動を行った。また、自分たちで栽培した野菜を具材に、イモ煮を作り、昼食をとった。
曾田委員	○ 不登校の子どもたちなので、外に出にくい子が多いと思うが、交流会の参加者は、何人くらいいたのか。
教育支援担当課長	○ 適応指導教室に通っている子どもの7～8割であった。一部の子はまだ参加できていない。
曾田委員	○ (ラポート牧山は、)遠いところなのに、それだけの子どもが参加しているなら良かった。これは、子どもたち版の行事か。発展的に大人版の行事として指導員や補助員の交流会もあるのか。
教育支援担当課長	○ 指導員は、交流というよりも全体研修会を実施している。
曾田委員	○ 今回の事業報告とは直接関係ないが、このところ検討している適応指導教室の在り方について、指導員の方たちが何か希望するとか、交流会を見てこういう風にしてほしいなどの声はあるか。
教育支援担当課長	○ 具体的に私のところに届いている声はないが、毎回、適応指導教室の代表者が集まる室長会があり、行事の持ち方や反省等をしているので、そういうところでは意見を吸い上げていると思う。
委員長	○ 東日本大震災から学ぶ中学生報告会について。最初に中学生が夏に被災地に行った一連の行事だと思うが、これが最後になるのか。まだ関連行事があるのか。
教育支援担当課長	○ 発表会は今回で最後だ。報告集を作って配布する計画はある。
委員長	○ 中学生が立派に報告したのではないかと思うが、どうだったのか。
教育支援担当課長	○ 西大寺の百花プラザの多目的ホールで実施し、保護者や地域の方300人くらいが見に来られた。参加した方々からは、テレビや新聞以上に心に響いた、感動したという感想を多くもらっている。町内会では、こんなすばらしいことであれば、何とか予算を生み出して、来年も行かせてあげたいという声もあったと聞い

ている。

7 議 事 の 大 要

委員長	○ 11月定例岡山市教育委員会を開催する。
委員長	○ 本日の傍聴希望者は1名いる。入室してもらってよいか。
全委員	○ <承認>
委員長	○ 日程第1、会期は本日1日限りとしてよいか。
全委員	○ <承認>
委員長	○ 日程第2、10月定例会の議事録に問題はないか。
全委員	○ <承認>
委員長	○ 日程第3、教育長等の報告、指導課から報告願う。 (会議録6「教育長等の報告」に記載)
委員長	○ 議事に入る前に会議の公開・非公開について諮る。日程第5の第30号議案は、 任免、賞罰等職員の身分取扱いその他人事に関する事項として会議規則第9条第 1項第1号に該当するため、非公開としてよいか。
全委員	○ <承認>
委員長	○ それでは先の議題は非公開とする。
委員長	○ 日程第4、報告第14号を報告願う。
	○ 説明(報告第14号の資料に沿って説明)
委員長	○ 質問、意見はないか。
委員長	○ (南区泉田に)四丁目ができたということか。
就学課長	○ 平成25年の2月2日から住居表示が実施される。それに伴い、(岡山市立芳 泉小学校ひばり分校の住所を)変更する。
委員長	○ 形式的な改正だが、報告第14号を承認してよいか。
全委員	○ <承認>
委員長	○ 報告第14号を承認する。
委員長	○ 報告第15号を報告願う。
スポーツ振興課長	○ 説明(報告第15号の資料に沿って説明)
委員長	○ 質問、意見はないか。
委員長	○ ファジアーノが使う施設だと思うが。
スポーツ振興課長	○ 基本的には、天然芝のグラウンドをファジアーノが優先的に使う。
委員長	○ 一般の方も予約をすれば使えるのか。
スポーツ振興課長	○ 天然芝の方は、今、想定しているのが土曜・日曜日。人工芝のほうを基本的に は一般の方に使ってもらう。
委員長	○ 報告第15号を承認してよろしいか。
全委員	○ <承認>
	○ 報告第15号を承認する。
委員長	○ 報告第16号を報告願う
人事財務課長	○ 説明(報告第16号の資料に沿って説明)
委員長	○ 質問、意見はないか。
委員長	○ 人事異動で、毎年このような調整するということか。
人事財務課長	○ 1月1日の推定で予算を組むので、実際の人事異動を反映して毎年このような 調整をしている。
曾田委員	○ 中校一貫校費の学校管理費について、どのような理由で報償費が増額になって いるのか。
人事財務課長	○ 嘱託職員の一時金が報償費としてあがってくる。嘱託が1名増えているので、 報償費があがっている。当初、再任用で予定していたが、嘱託に切り替わった。 報酬は人件費であり、報酬はその人件費の中で流用できるが、報償費は物件費に なるので、補正をあげる必要があった。
曾田委員	○ それで、後楽館関係のところだけが報償費が上がっていると。あとは報酬とい うことでよいか。
人事財務課長	○ 報酬はいわゆる給与に相当する。報償金は一時金。人件費と物件費で分かれる。 人件費は流用で対応できるが、報償金は物件費で流用ができなかったため、補正 をあげている。
曾田委員	○ 1月1日では予想できなかったと思うが、小学校費の臨時用務員の人員増は、 大幅なのか。
人事財務課長	○ 当初予定より臨時の用務員は5名増えている。定年退職以外の人については、 当初予算を組んでいない。病休職員が出た場合も臨時職員で対応する。それは、 賃金になるので、当初見込以外のものがでてきたということだ。

委員長	○ 報告第16号を承認してよろしいか。
全委員	○ <承認>
委員長	○ 報告第16号を承認する。
委員長	○ 報告第17号を報告願う
スポーツ振興課長	○ 説明（報告第17号の資料に沿って説明）
委員長	○ 質問、意見はないか。
委員長	○ （職員が）1名増えたということか。
スポーツ振興課長	○ 定員数は変わっていないが、単価の違いにより調整する必要が生じた。
委員長	○ 報告第17号を承認してよろしいか。
全委員	○ <承認>
委員長	○ 報告第17号を承認する
委員長	○ 以上で公開議案の審議はすべて終了する。

傍 聴 の 状 況			
報	道	1	名
一	般	0	名

平成24年11月 岡山市教育委員会定例会（非公開） 会議録

1 開催日	平成24年11月27日（火曜日）		
2 開会及び閉会	開会	14時15分	
	閉会	15時10分	
3 出席委員	委員長	渡辺勝志	
	委員	塩田澄子	
	委員	曾田佳代子	
	委員	東條光彦	
	委員（教育長）	山脇健	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	水野博宣	教育次長	橋本拓治
統括審議監	鈴木康義	審議監（学校教育担当）	福島治子
審議監（生涯学習担当）	直本正明	学事課長	山本孝治
5 議題及び結果			
第30号議案	岡山市立学校の県費負担教職員の人事について		原案可決